

News Release



株式会社ファーマフーズ

会社名 株式会社ファーマフーズ
 代表者名 代表取締役社長 金 武祐
 コード番号 2929
 上場取引場所 東証マザーズ
 本社所在地 京都市西京区御陵大原1番地49
 TEL075-394-8600 FAX075-394-0099

各位

創薬事業「転移性悪性腫瘍に対する新規抗体医薬の開発」のお知らせ

当社は創薬開発を目指し、一連のパイプライン化を進めてまいりました。

中でも、「転移性悪性腫瘍に対する新規抗体医薬の開発（悪性腫瘍プロジェクト）」は、最も重要度が高いテーマの一つとして、内外との共同体制の下、開発を推進してまいりました。

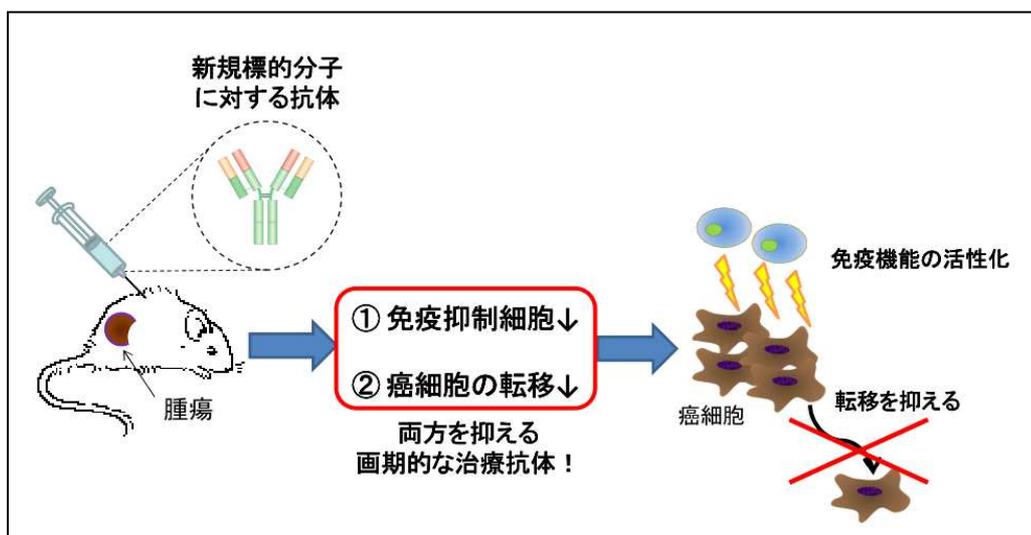
今般、慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 工藤千恵先生による、癌の悪性化に関わる新規分子の発見を基に、当社がその実用化を目指してまいりました。

その結果、当社の有する「ニワトリモノクローナル抗体作製技術」により、初めて高活性の抗体が得られ、動物モデル試験で実用化の可能性を示す結果が得られました。（図参照）

この度、得られた結果を基に独立行政法人科学技術振興機構（Japan Science Technology=JST）による研究成果最適展開支援プログラムに応募し、高い評価を得て実用化推進の基盤を得られました。

本件は、日本経済新聞 近畿経済面（2014年12月16日付）、日本産業新聞（2014年12月17日付）に掲載されております。（添付資料参照）

今般の結果を機に、今後スピードを高め、研究開発を推進してまいります。



【図：ニワトリ抗体により①免疫抑制細胞を制圧 ②癌細胞の転移を抑制し、癌細胞の増殖を抑制】

がん治療の抗体医薬品

ファーマフーズ 慶大と共同開発へ

バイオベンチャーのファーマフーズはニワトリ由来の抗体を使ったがん治療薬を開発する。慶応大学医学部との共同研究

の成果を生かし、がん細胞の骨への転移や人間の免疫機能の抑制を防ぐ抗体医薬品をつくる。実用化に向けて製薬会社と提

携して2018年7月期までの開発権引き渡しを目指す。独立行政法人科学技術振興機構から15日、支援

事業の採択を受けた。

悪性度の高いがん細胞が分泌するたんぱく質はがん細胞を骨に転移させやすくするほか、ヒトの免疫に攻撃されないようにヒトの免疫機能を抑えてしまう。がん細胞が一旦骨に転移すると生存率は大きく下がる。

ファーマフーズはニワトリの体内にヒトのたんぱく質を入れて抗体を作る。この抗体はがん細胞

が分泌するたんぱく質に働いて骨への転移や免疫機能低下を防ぐ。がん細胞自体の増殖も抑える。

ファーマフーズは16年7月期までに実用化に向けて提携する製薬企業と共同開発契約を結んで1億円以上の一時金収入を計画する。さらに2年後にはがん治療薬の権利自体も製薬会社へ引き渡し、追加で5億円程度の収入を見込む。

ニワトリからがん抗体薬

ファーマフーズ 慶大と開発

【京都】バイオベンチャーのファーマフーズは、開発すると発表した。慶大のファーマフーズは、同研究の成果を生かし、16日、ニワトリ由来の抗体を使ったがん治療薬をがん細胞の骨への転移や

人間の免疫機能の抑制を防ぐ抗体医薬品をつくる。実用化に向けて製薬会社と提携して2018年7月期までの開発権引き渡しを目指す。

科学技術振興機構（JST）から支援事業の採択を受けた。

悪性度の高いがん細胞が分泌するたんぱく質はがん細胞を骨に転移させやすくするほか、ヒトの

免疫に攻撃されないようにヒトの免疫機能を抑えてしまう。がん細胞が骨に転移すると生存率は大きく下がる。

抗体はニワトリの体内にヒトのたんぱく質を入れて作る。この抗体はがん細胞が分泌するたんぱく質に働く。骨への転移や免疫機能の低下を防ぎ、がん細胞自体の増殖も抑えるという。